

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立亀田小学校 校長 大井 欣一

1 学校教育目標

○かながえて ○めあてをもって ○たくましく
友だちおもしろい 亀田の子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13908 冊（蔵書基準冊数 11160 冊）／ 蔵書率 124.6%（前年度末 118.9%）									
	② 新規購入図書 660 冊 ／ 廃棄図書 257 冊 ／ 増減冊数 403 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6%	8%	10%	5%	3%	7%	3%	54%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み・昼休み									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 60.5 冊（前々年度末：59.04 冊）									
	④ 1か月に2冊以上読む児童 94.5 %（前々年度末：94.9 %）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13701 冊（蔵書基準冊数 10960 冊）／ 蔵書率 125.0%									
	② 新規購入図書 712 冊 ／ 廃棄図書 918 冊 ／ 増減冊数-206 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	224	193	884	1086	1430	698	512	921	404	7349
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9:30～16:15（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 64.0 冊（前年度末：60.5 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 95.1%（前年度末：94.5 %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方について知る。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会を増やす。 ②学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。		①各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。
目標達成状況		
① 各クラス月2回以上、学校図書館の利用があった。 ② 年間一人あたり目標20冊は、100%の児童が達成した。（平均88.67冊）		

第2学年	①いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、学校図書館の利用があった。 ②年間一人あたり目標20冊は、100%の児童が達成した。(平均88.67冊)	
第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、年間一人あたり700ページ以上の本を読む。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書活動を学校図書館で行った。 ②読書旬間の目標700ページは、約70%の児童が達成した。	
第4学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することが出来る。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間等を利用して、年間一人あたり800ページ以上読む。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、読書活動を学校図書館で行った。 ②読書旬間の目標800ページは、約77%の児童が達成した。	
第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間一人あたり1000ページ以上読む。
目標達成状況	

① 各クラス月2回以上、読書活動を学校図書館で行った。 ② 読書旬間の目標1000ページは、約84%の児童が達成した。	
第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間一人あたり1000ページ以上読む。
目標達成状況	
① 各クラス月2回以上、読書活動を学校図書館で行った。 ② 読書旬間の目標1000ページは、約94%の児童が達成した。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を8月中に完了させる。 ② 蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入候補図書リストは7月26日までに作成し提出した。 ・新規購入図書の受け入れは9月30日までに終了した。 ・国語の教科書に掲載されている本を揃えるため調査をし、購入候補リストに反映させた。 ・各学年廊下に教科書掲載本コーナーを作成した。 ・夏季休業中に館内全体の配架修正を実施した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員との相談や情報交換を行う。 ② 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館支援員業務日は休み時間も開館、利用が多くある。 ・学習用図書の収集 今年度実績11回 ・読書旬間中の「おはなし給食」メニュー参考資料の収集 今年度実績3回 ・新規購入図書候補リストは教員の要望と合わせて作成した。 ・図書ボランティアによる読み語りを下学年に年間各2回実施した。
【その他】 ① 休み時間の貸し出しを週に4回（月・火・木・金）可能とし、貸出冊数も1人3冊までを可とする。 長期休暇中も一人4冊貸出可とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回学級文庫の貸出を実施した。 ・夏季休業中に学校図書館開館日を設定し、貸出を行った。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

<ul style="list-style-type: none"> ・図書館支援員と連携をとり、季節行事や学校行事、イベントに合わせた掲示を作成したり、読書旬間の取組を行ったりすることができた。 ・読書旬間の取り組みとして、新しく「読書ビンゴ」を取り入れたことによって、様々な分類の本を読む機会を増やすことができた。 ・昨年度の反省を踏まえ、図書館支援員による年度の始めの学校図書館利用オリエンテーションや読み語りの計画を立てたことにより、実施回数を増やすことができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）